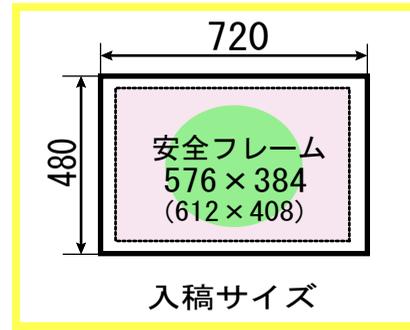
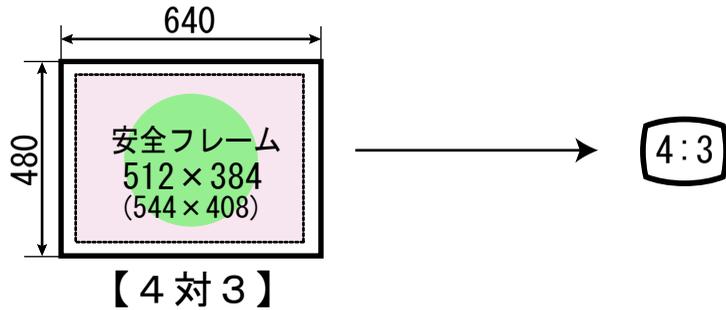


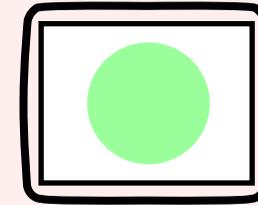
# メニュー画面制作サイズ

アスペクト比の仕様によって、画面サイズは以下のように制作して下さい。

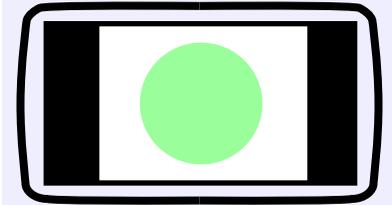
## ○ 4×3 サイズメニュー



4×3 テレビ

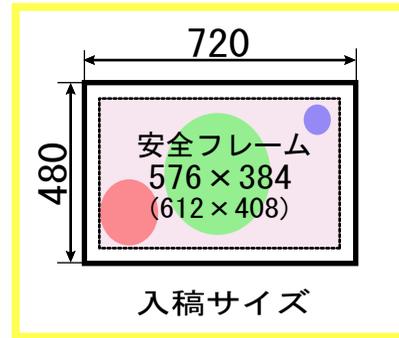
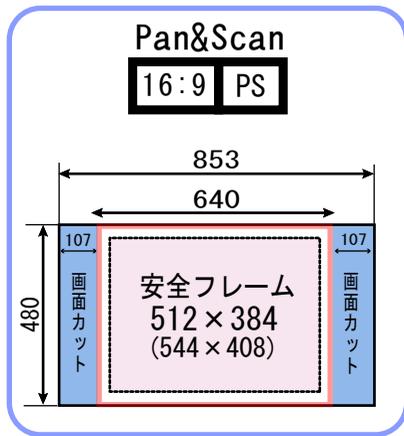
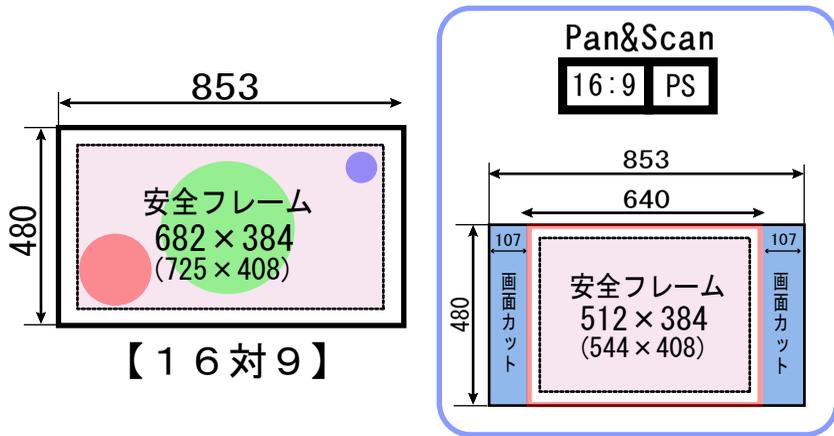


16×9 テレビ

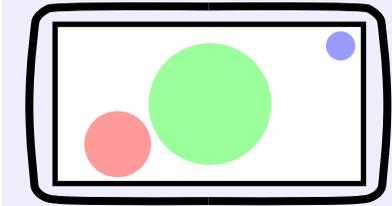
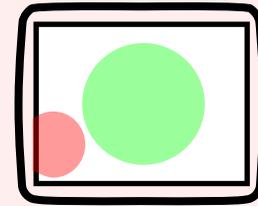


## ○ 16×9 ワイドサイズメニュー

ワイドの場合には4×3モニターでの対応を選択して下さい

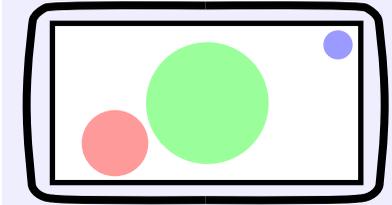
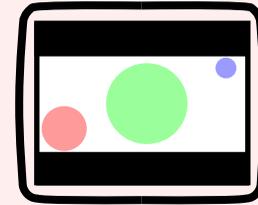


Pan&Scan



※ 画面の両端がカットされますので、そこにボタンや見えなくなつては困るものは配置できません。

LetterBox



※ 安全フレームはワイドと同じですが、モニター中のサイズは小さくなります。文字のサイズをはじめ図柄が小さくなるので注意してください。

※ 安全フレーム 80% (85%) テレビ画面の表示可能領域。テレビによって異なる。上図の数字の単位は(Pixels)

※ 『入稿サイズ』は、コンピュータの正方、ビデオの非正方と、画素ピクセルの形の違いによるものです。

# メニュー画面ボタン制作

メニューのボタンはボタンマスクを制作することにより、デザイン可能です。

## ○ ボタンマスク



- ボタンデザインは、左の例のように黒バックに赤(R)、緑(G)、青(B)の3色を‘色域’としてデザインして下さい。
- 黒以外の3色は色域（色によるエリア認識）用のデザインフォーマットで、下表のようにこの色エリアに好みの色を配置し、メニューデザインに重ねてレイアウトすることが可能です。
- ボタンにはDVDユーザーインタラクティブ用に3つの状態が用意されていますので、それぞれにデザインされた色をこのエリアに設定する必要があります。
- ボタンマスクは、メニューデザイン入校時と同じサイズ（720×480ピクセル）で、TV画面に重ね合わせた時に“同ポジ”が来るようにデザインして下さい。下のサンプルのように文字の色変えの場合、背景とボタンがずれると見難くなってしまいます。  
640×480ピクセルで作成したマスクを入稿サイズにストレッチすると、色域にグラデーションがついて機能しなくなってしまうのでご注意ください。対策は「メニュー画面入稿時のご注意」をご参照下さい。
- ワイド、マルチアスペクト対応メニューの場合、ボタンマスクは弊社にてポジション取りが可能ですので、P&S、レターボックスそれぞれのアスペクトで別々のボタンマスクは不要です。

## ○ ボタンのステータス

ボタンには以下の3つの状態があります。

DVDプレイヤーでは、常に画面中ではボタンはひとつだけ選択可能となります。ボタンは選択状態を含めた3つの状態があり、各状況下でボタンとして設定したサブピクチャー（＝ボタンマスク）に色、透明度の演出をつけることが可能です。透明度により背景と混ざった演出も可能です。

3個のボタン設定

ボタンエリア

表示色（ノンセレクト）

選択色（セレクト）

決定色（アクション）

色域	ボタンカラー				ボタンカラー				ボタンカラー			
	R	G	B	不透明度	R	G	B	不透明度	R	G	B	不透明度
R	0	0	0	0	87	197	234	66%	255	246	0	100%
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ボタン範囲である四角の点線は重ねる事が出来ません。ボタンマスクの工夫で、可能となるケースもありますので担当者に御相談下さい。

この例では、R の色域にのみ利用していますが、ボタンマスクを "G"、"B" も利用してデザインする事が可能です。その時にも各色域にそれぞれのステータスで色、透明度を設定出来ます。

# メニュー画面入稿時のご注意 ①

## ○ メニューデザイン、ボタンマスク 受け入れ可能データ仕様

サイズ : 720 × 480 pixels ※ 4 × 3、16 × 9アスペクト共

4 × 3アスペクトのデータは水平方向に拡大、16 × 9の場合には縮小となります。  
画像補間方式には、バイキュービックを使用して下さい。

☆ ボタンマスクはインデックスカラーに変更して、最大4値（黒、赤、青、緑）としてから入稿サイズ(720×480)に合わせると、マスクがグラデーション化することを防ぐ事が可能です。

画像フォーマット : T I F F 形式 ( I B Mフォーマット)

ファイル名 : 英語小文字 8 文字以内: Tif (拡張子) 例) main.tif

### 注意点

レイヤーは全て統合  
アルファチャンネル、パスは全て削除  
カラーモードはRGBモード

文字フォントは権利上の問題がないものであることをご確認下さい。

“ボタンマスク”には上記に加え以下の点にご注意下さい。

アンチエイリアスがある



アンチエイリアスなし



上図のように、アンチエイリアスがあると、色域としての赤(R)が濁ったカタチとなり、色がおかしくなったりボタンとして問題が生じます。拡大、縮小した後などにご注意下さい。

インデックスカラーなどで、最大4色（RGBプラス黒）になっている事をご確認下さい。

ボタンマスクは、チャプター画面などで、ボタンの位置が同じであれば、最大公約数のボタンマスク画面が1枚あれば流用可能です。詳しくはオーサリング担当者にご相談下さい。

# メニュー画面入稿時のご注意 ②

## ○ メニューデザイン

文字の大きさ : 16ポイント以上

フォントにもよるが、文字が小さいとTV画面ではつぶれて読みにくくなります。  
英数字では14ポイントでOKの場合もあります。

線の太さ : 最低2pixel以上

※ 4pixel以上が望ましい

細い線は、TV画面でのフリッカーの原因となります。  
線の細い文字も、同様にフリッカーの心配がありますので、特に横線の細い明朝系のフォント等ご注意ください。

ゴシ 明朝

## グラデーション、彩度、明度

TV画面では、微妙な色合いが表現されにくい場合があります。グラデーションなどでは特に注意が必要です。  
彩度、明度については、コンピュータ画面に比べて高く表示する傾向があるようです。高い彩度の色や明るい部分には注意が必要です。  
コントラストについても、高いコントラストはフリッカーの原因となります。

## フォント

使用するフォントは権利上問題のないものであることをご確認下さい。